

歴史散策と野鳥 九度山 探鳥会

2016年6月11日(土)

歴史散策と野鳥シリーズの第四弾は、真田信繁(幸村)ゆかりの地、九度山の街並みを歩き、往時をしのびながら、野鳥観察も楽しみます。

1600年、真田昌幸・信繁(幸村)父子は、関ヶ原の戦いでは西軍に味方し、中山道を経由して関ヶ原に向かう徳川秀忠の大軍を信州・上田城でわずかな手勢で足止めしました。西軍が敗れたことにより当然死罪に処せられるところ、東軍に味方した真田信之(信幸から改名、信繁の兄)と姻戚関係のある徳川重臣・本多忠勝の助命嘆願によって所領没収と高野山蟄居を命じられた父子は、高野山・蓮華定院に身を寄せました。

その後、妻子との生活が許され、女人禁制であった高野山を離れ、麓の九度山・真田庵に移り住み、1602年、信繁には長男大助(幸昌)が生まれました。1611年、再起の夢が叶わず、昌幸が病没。1614年の秋、真田信繁が大坂城に入城するまでの14年間を過ごした九度山には、真田三代にちなんだ言い伝えが数多く残されています。

【コース】 九度山駅～(真田のみち)～真田古墳(真田の抜け穴伝説)～真田庵・善名称院(ぜんみょうしょういん)～丹生橋～丹生川・紀の川合流～慈尊院(女人高野)～丹生官省符神社(にゅうかんしょうぶじんじゃ)～(高野山町石道 180町石→174町石)～(一般農道)～道の駅・柿の郷くどやま

やさしいきもち

野外活動、無理なく楽しく

採集は控えて自然はそのままだ

静かに、そーっと

一本道、道からはずれないで

気をつけよう、写真、給餌、人への迷惑

持って帰ろう、思い出とゴミ

近づかないで、野鳥の巣



担当: 藤村 はるえ 浅野 宏幸
泉谷 一弘 入江 英俊
上村 賢(090-8653-9165)

歴史散策と野鳥 九度山探鳥会

2016年6月11日(土) 天候:くもり/晴れ

みつけた鳥・きいた鳥		姿	声	みつけたとり・きいたとり		すがた	こえ
5	キジ			451	ヒバリ		
32	カルガモ			457	ツバメ	○	○
62	カイツブリ	○		459	コシアカツバメ	○	
74	キジバト	○	○	461	イワツバメ	○	
78	アオバト			463	ヒヨドリ	○	○
127	カワウ	○		464	ウグイス	○	○
139	ゴイサギ			466	エナガ		
141	ササゴイ			477	メボソムシクイ		
143	アマサギ			479	エゾムシクイ		
144	アオサギ	○		485	メジロ	○	○
146	ダイサギ	○		492	オオヨシキリ		○
147	チュウサギ			499	セッカ		
148	コサギ			506	ムクドリ	○	○
166	クイナ			512	カワガラス		
174	バン			549	イソヒヨドリ	○	○
195	ケリ			554	コサメビタキ		
202	イカルチドリ	○	○	558	キビタキ		○
203	コチドリ	○	○	561	オオルリ		
239	クサシギ			539	スズメ	○	○
241	キアシシギ			573	キセキレイ	○	○
244	イソシギ	○		574	ハクセキレイ	○	○
307	コアジサシ			575	セグロセキレイ	○	○
339	ミサゴ			587	カワラヒワ	○	○
340	ハチクマ			602	イカル		
342	トビ	○		610	ホオジロ	○	○
349	チュウヒ			59	カワアイサ	○	
356	オオタカ						
357	サシバ						
383	カワセミ						
390	コゲラ		○				
397	アオゲラ						
401	チョウゲンボウ						
407	ハヤブサ						
412	サンショウクイ			*	コジュケイ		○
420	モズ			*	ドバト	○	
435	ハシボソガラス	○	○	合 計		28	23
436	ハシブトガラス		○				
442	ヤマガラ	○	○				
445	シジュウカラ	○	○				
						33	

